

平成26年度

湯沢砂防だより

No.36

平成26年12月1日

国土交通省 湯沢砂防事務所



防災・減災
新潟プロジェクト
2014

海外の技術者が芋川流域で現地研修しました

11月13日(木)、(独法)国際協力機構【JICA】が主催する、「土砂災害防止マネジメント(豪雨、地震、火山噴火起因)」研修の一環で、芋川流域における「天然ダム対策」についての現地研修が行われました。

この研修は、災害多発国として有している防災・減災のノウハウを、開発途上国で防災・減災に携わる人材育成に活用することを目的に今年度新たに開設された研修コースで、期間は、10月5日～12月20日までの2.5ヶ月です。

研修員は、インド、スリランカ、フィリピン、ベトナム、マレーシア、パプアニューギニア、コモロ、モーリシャス、ドミニカ共和国、ブラジル、ペルーの11カ国におよび計15名の方が参加されました。

当日は、気温が10度程度で小雨の降る厳しい条件でしたが、寺野・東竹沢の河道閉塞での緊急対策や、その後の恒久対策の現場のほか、地すべり対策・砂防工事が行われた現場を視察しました。また、やまこし復興交流館「おらたる」では、地震による被害や被災住民の避難生活の状況についても説明を受けました。

研修も後半に入り、研修員の方はやや疲れが見え始めていましたが、熱心に視察されました。研修はあと1ヶ月チョット続きますが、健康に留意し研修を修了し、故国において活躍されんことを祈念します。



南平地区の砂防・地すべり対策現場



東竹沢地区の河道閉塞現場



下之沢(梶金)地すべり対策現場



やまこし復興交流館「おらたる」にて